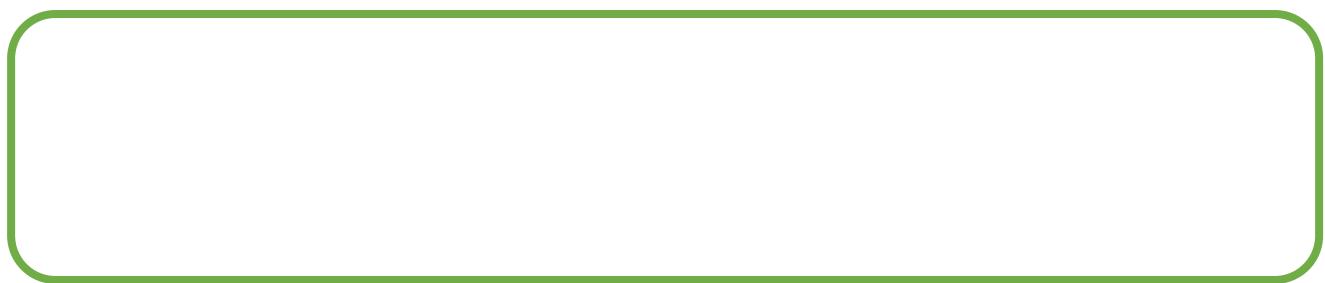




石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第112回(今年度第2回) 2021年6月10日(木)14:00~ オンライン会議

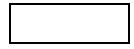
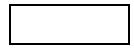


5. **協議題1** 2021年度各グループの活動計画について(別紙)

- (1) 研究G活動計画
- (2) 調査研修G活動計画
- (3) 予算要望G活動計画

6. **協議題2**「令和4年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的な作業について(別紙)

(提案 予算要望G担当)



10. 連絡事項

① 市内基礎データ集約状況について(別紙)

② その他

構成	氏名	所属	備考
研究グループ代表	中川 雄二	厚田学園	研究推進委員
	高嶋 学	花川小学校	
	小板橋 悟	花川南小学校	
	小野 愛	南線小学校	
	斎藤 大輔	花川南中学校	
	津田 英志	樽川中学校	

子どもの学習権を保障する創造的学校事務の展開～「学校間連携」のとりくみをとおして～

(1) 学校事務職員としての専門性を生かしたとりくみ

今年度石事協研究主題「自主性と創造性にあふれる学校事務をめざして～日常実践に根ざした事務職員の職務確立～」

研究内容:学校間連携による財政財務活動の取り組み

- ① 各校の公費から支出している教材・消耗品などを調査し、リストを作成する。
今まですすめてきた保護者負担の公費化教材調査と合わせて、予算要望部の保護者負担経費調査も含めた新しい調査を行い、とりくみをより確実にすすめるための資料とする。
- ② 財政基盤強化に向けた「石狩市予算要望委員会」との連携強化のとりくみ
- ③ 学校間連携事業における日常実践での交流と課題解決に向けたとりくみ
- ④ 長期休業中の事務職員課題に関する課題解決に向けた協議
- ⑤ その他協議事項

(2) 繼続課題

- ① 各学校の予算書の交流
- ② 石教研第2次研究協議会・管内研修会・全道事務研への積極的参加の呼びかけ
- ③ 協議会・学校間連携事務局との協力協働体制を図る。
- ④ 各種レポート作成体制

(1) 「石狩市予算要望委員会」とのさらなる連携(予算要望 G と連携)

(2) 提言をさらに生かすための組織的運用(石狩市予算要望書)

(3) 「学校事務の専門性」のとらえ返し

学校経営参画(学校運営計画の変更例など)、共同学校事務室について考える、など

石事協から法改正に関する市町村単位での学習に向けた資料提示などがされる予定ですので、それを受けどのような研究をしていくのかを考えます。

基本的には昨年度と同様の骨子で

1. レポートの作成

(1) レポート構成(案)

1. 研究主題(テーマ)と研究内容について
2. これまでの活動内容
 - (1) 定例会・連携会議の開催状況
 - (2) 連携会議の活動の柱
3. 1年間の取り組み報告（昨年度レポート作成後からのもの）
 - (1) 市配分予算調整に関する取り組み
 - (2) 予算要望委員会関係強化と予算要望書の作成に関する取り組み
 - (3) 就学援助制度に関する取り組み
 - (4) 実践交流(事務だよりなど)
 - (5) その他
4. 学校間連携の成果と課題
5. 資料

※ レポートの検討は夏季休業以降の会議で行いたいと考えています。

日程	内容	備考
4月12日(火)	管内事務運営打合せ会議・第1回推進委員研修会	新年度概要
4月16日(金)	石教振第1次研究協議会・第1回定例研修会	
5月13日(木)	第2回定例研修会	活動計画検討
5月24日(月)	第2回推進委員研修会・合同研修会	今年度の研究主題提示
6月10日(木)	第3回定例研修会	今年度の活動計画提示
6月17日(木)	第3回推進委員研修会	
7月8日(木)	第4回定例研修会	
未定	夏季研修会	
8月中旬	第2次研究協議会レポート作成	
8月24日(火)	第4回推進委員研修会	市町村研究推進交流
8月31日(火)	石教振第二次研究協議会・第5回定例研修会	
9月7日(火)	石教研課題部会研究協議会	
9月16(木)～17日(金)	第71回全道事務研究大会(ライフオート開催)	石狩市レポート発表
9月24日(木)	第6回定例研修会	2次研究協議会レポート検討
10月1日(金)	第5回推進委員研修会	
10月15日(金)	石教研第二次研究協議会	午後開催
10月28日(木)	第7回定例研修会	
11月9日(火)	石狩管内公立小中学校事務職員研修会・交流会	
12月3日(金)	第6回推進委員研修会	業務反省・研究交流
12月11日(金)	第8回定例研修会	
2月4日(金)	石教振第三次研究協議会・第9回定例研修会	
2月17日(火)	第10回定例研修会	年度反省検討
3月3日(木)	第7回推進委員研修会	
3月11日(金)	第11回定例研修会	

令和3年度 調査研究部 年間活動計画(案)

■1. 構成員

構成	氏名	所属	備考
調査研究部部長	村井 誠	石狩中学校	全般
副部長	森田 政浩	石狩八幡小学校	就学援助
	幕田 芳恵	花川北中学校	管外視察
	山下 麻美	生振小学校	出前講座
	佐藤 公保	花川小学校	その他調査
	宮前 望	紅南小学校	その他調査
	羽角 龍	花川中学校	送別会

■2. 活動方針

- (1) 業務の効率・迅速・正確・簡素化を図るため、学校事務の実態調査を行い、改善方法について検討提案する。
- (2) 研究課題の解決や研鑽を深めるため、視察研修を企画・推進する。

■3. 活動計画

□ (1)学校事務の改善について

- ①学校事務が関わっている業務について、調査・資料化をする。
- ②就学援助事務の手引きに改善の必要がある場合は、改善に向けて検討を図り、事務局を通して関係諸機関との調整を図る。またそれに伴い変更が生じた場合は、手引きの変更を行う。**(今年度確認事項あり・・・アルバム代金補助)**
- ③上記作業については、協議会、連携会議事務局と連携をとり、学校間連携 HP の手引きページについての様式の掲載等の充実を図る。

□ (2)視察・研修等について

- ①他支部交流について
今年度はコロナ渦での影響を考慮して、**実施を見送る方向**。
- ②出前講座
今年度はコロナ渦での影響を考慮して、**実施を見送る方向**。

日程	内容
4月12日	石教振 第1次研究協議会・第1回定例会
5月13日	第2回定例会
6月10日	第3回定例会
7月 8日	第4回定例会
8月31日	第5回定例会
9月24日	第6回定例会
10月15日	石教研2次研究協議会
10月28日	第7回定例会
11月 9日	管内事務研修会
12月11日	第8回定例会
2月 4日	石教振 3次研究協議会・第9回定例会
2月17日	第10回定例会
3月11日	第11回定例会

令和 年度 予 望グループ活動 案

○構成員

川 浜 小 台小 佐 川小 橋 川中 沼 双 小
川南小

1. 活動方

教 施 ・ 備と教 の保 担 減を求め、 活動を推 する。

より かな予 望 料作成のため、日常実 を して 料の収 と分析を い、 得力のあ
る 望書づくりと予 獲得に努める。

予 望活動を学校 携のとりくみとして推 する。

2. 活動

予 望書の効率 及び効果 な 料作成のための企 案

望 料作成にあたり、成果や を まえ、各校の実態交流を して、より 得力のある
料づくりを める。

学校 携による 実態 の 査により、年 を した活動を推 する。

予 望書作成に わる事務 員 会としての 料作り・・・これが一 大事な活動です。す
ぐには成果が出なくても、 することで実 している もたくさんあります。

また一層の改善のために今後も や、新たな についても 査を い、働きかけていくこ
とも大事なことです。今年度は も含め以下のとおり 査・ 料作りを めていきます。

査の 担 減を図るためフォームを活 します。

① 市 消 品 分 における印刷 の割合

各学校では、定 制プリンタの導入や のコスト削減など、印刷 を抑える努力を っていますが、厳しい状況にあることを してもらう必 があります。 在は学校 分予 の 分 整を うことができるようになっていますが、このことは、根本 な 決 予 の増 にはなつていないと えます。これまで して 望を上げてきた成果として令和 年度の印刷機器一斉更新という回 もいただいております。一斉更新が実 するまで して 査を います。一斉更新時に各学校の 望をくみ取った機器 定を っていただけるよう働きかけていきます。

② 保 担公 化のための 望 各教 実 材料 担 査

実 保 がどれだけ 担をしているか把握できる 料のため、 して 査を い 望
書に り みます。昨年度より小学校の「 ハーモニカ」「 字セット」などの「斡旋教材」
も 査を っています。昨年度の反 から や教 ごとの を せた方がいいとの意 を
いただきましたので、まとめる に検 したいと思います。また昨年度 で実施した「公
化されている教材・消 品の 査」とのリンクについても予 望 において検 した 果、今
年度はこの 査 は で っていくことになりましたので予 望 として 査は い
ません。

③ スキー学 バス代保 担 査

年のバス代 により保 担が増加していることから、平成 年より 査を い、

望書に り んでいます。

その 果、小学校への 助 増、中学校実施校への 助など成果での いる です。

この もさらに改善がはかられるよう、 して 査を う必 があります。引き きリフ ト代の 査も い、予 措 につなげていきたいと思います。

④ 中学校吹奏楽に わる

この 望も して取り んできた 果、 した予 分がなされるようになりました。

この 分が され、さらに、 有 10 の修 が 分されるよう、引き き 査を い、 望する必 あります。また、樽川中 狩太 についても予 分されるよう します。

⑤ 学校図書 整備に係る消 品などの必 査

して取り んできた 果、小学校への司書 に始まり必 の予 分、昨年度から 中学校の巡回という形で司書の や、必 の予 分など成果のみられる のひとつ です。昨年度の反 においても一定の成果がでていることから 査からの削 があげられていますが司書の全校 が望ましいことから 査 の しを図ります。

⑥ 小学校 教 化に伴う

今年度より小学校 1 年 で外国 活動、 2 年 では教 として外国 が実 施されています。昨年に引き きその必 消 品 や教材備品 など の実態を把握し、 料化することで予 措 を働きかけていきます。

⑦ 学 指導 全 改 に伴う教 書採択に わる必 査

小学校は令和 2 年度から、中学校は令和 3 年度から学 指導 が改 になります。それに伴い 去の から、教 書採択予 は消 品の増 という形で 分されると予想されます。しかし、 それだけではなく、整備しなければならない物品や備品が出てくることが えられます。 査を い、 常の消 品増 だけでは 入することが しい物品や備品を整備するよう 望します。

⑥ 学 指導 全 改 に伴う教 書採択 に わる必 査

年度の反 を受け、中学校の学 指導 の全 改 に伴う教 書採択、小学校 教 化に伴う必 をまとめてこの で います。

⑦ 児 徒一人当たりの 分予 の推 削

昨年度の反 で児 あたりの単価が上昇している状況があることから 査を しないこと を検 してはどうかと上がっていました。これまでの取 の成果ととらえ今年度は 査を わな いこととします。

今年度予 で、増 分の消 品 が増 されました。しかし、この 査の本来の は、保 の 担 減のための学校予 のさらなる増 です。ここ数年の全体、及び小学校・中学校の単価の推 を把握することにより、 望の一 料とします。

3. 年 活動 予 望委員会に わっても しています。

欄など一 日 不 定あり

月 日 日 回予 望 会 交流 各 査 内 容 の 検 日 の
月 日 回 携 会 点 望、 査 の 具 体 な 内 容 の 決 定
月 日 月 日 査 期 各 校 に デ ー タ 布、 各 校 で 査、 入 し 浜 小 川 へ
月 日 1 回 予 望 委 員 会 **Teams による リ モ ー ト 実 施**
月 日 月 日 査 果 望 の 旨 の 内 容 の 検 予 望 グ ル ー プ 各 担 当
月 日 月 日 予 望 書 内 容 檢 予 望 グ ル ー プ 内
月 日 月 日 予 望 内 容 案 完 成 作 業
月 日 月 日 携 会 協 会 事 務 局 と の
月 日 以 予 望 内 容 案 全 会 員 へ メ ー ル で 付
月 上 旬 夏 季 修 会 予 望 書 内 容 案 檢
月 日 学 校 ラ ン キ ン グ 提 出 メ ー チ 営 、 備 品 係
月 日 回 修 会 予 望 書 最
月 上 旬 予 望 書 料 予 望 委 員 会 へ 提 出
月 中 旬 回 予 望 委 員 会
月 下 旬 月 上 旬 各 学 校 施 備 査 市 教 委
月 中 旬 各 団 体 か ら の 望 提 出 市 教 委
月 下 旬 月 中 旬 各 团 体 か ら の 望 の 整 市 教 委
月 下 旬 教 予 望 書 提 出 予 望 委 員 会 事 務 局
月 上 旬 「 令 和 年 度 狩 市 教 予 望 書 」 の 各 学 校 布
令 和 年 月 日 回 携 会 年 度 反 檢
令 和 年 月 下 旬 回 予 望 委 員 会 予 望 書 の 回
令 和 年 月 下 旬 予 望 書 の 回 の 各 学 校 布

「令和4年度 石狩市教育予算要望書」作成に向けた具体的作業について

1. 予算要望委員会に対しての事務職員部会としての取り組みの確認

「予算要望委員会としての重点要望（共通要望）事項」のうち、「事務職員部会としての重点要望」（それぞれ別紙参照）について、予算要望グループ内での検討を行いました。別紙にてご意見をお願いします。

それを受け、今後の予算要望委員会に対しての取り組みを進めていきます。

2. 事務職員部会としての要望に係る資料作り

第1回予算要望部会にて具体的取り組み内容を作成しました。

ご確認をお願いします。

(1) 予算要望書作成に向けた作業日程について

第1回予算要望部会（調査内容の審議）	メールにて確認
具体的調査内容の確認・決定	6月10日本日
調査期間（各校にて）	6月15日～6月30日
（第1回予算要望員会）	7月2日 Teamsによるリモート開催
調査結果集約（予算要望グループ内）	7月2日～7月10日
予算要望書内容検討（全会員で）	夏季研修会
（「学校ランキング表」提出）	8月21日？）
提出資料の最終確認	8月31日（第4回研修会）
予算要望委員会への提出	9月上旬
（第2回予算要望委員会）	9月中旬）

(2) 具体的調査内容と提出について

Googleフォームで作成しましたので入力送信をお願いします。吹奏楽楽器調査についてはこれまでの様式に追記していく形を踏襲します。

特に指定のない場合は、令和2年度の実績で入力してください。

① 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

以下の項目についてR2年度分を入力してください。

学校配当消耗品費	プリンターインク・トナー使用料
レンタルプリンタ年間利用料	印刷機インク・マスター
コピー機使用（カウンター）料	用紙代
消耗品費配分額に対する割合	

② 保護者負担公費化のための要望（各教科実験材料費負担調査）

今年度この項目は研究部で行いますので項目から外しています。

③ スキー学習バス代保護者負担調査

スキー学習トータルのバス代

バス代の補助金総額

バス代の私費負担総額

バス代の一人あたり私費負担額

※スキー学習全体のバス代総額については、**過去2年分**について回答してください。

※リフト代について引き続きよろしくお願ひいたします。

④ 中学校吹奏楽に関する要望（楽器整備5カ年計画）

金額	楽器現有金額	楽器購入5カ年計画（令和3年度～7年度）	→	年度	楽器名	数量
別シート「楽器整備5カ年計画」の自校部分のみ修正し、送ってください。樽川中の和太鼓についてもこちらに記載してください。						

⑤ 学校図書館整備に係る消耗品などの必要経費

予算を貰っても結局返してしまっているという反省が複数あったことから、司書の配置にかかる調査に切替します。

⑥ 小学校英語教科化に伴う経費（小学校）

⑦ ~~学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関する必要経費調査~~

⑥ 小学校英語教科化、教科書全面改訂にかかる必要経費調査

教科書全面改訂が完了したことから従来の項目⑤、⑥を統合して1つの調査項目としました。

⑧ 石狩市児童生徒一人あたりの配分予算の推移、比較

令和2年度反省を受け今年度は掲載しないこととしました。

③ 調査用紙について

項目②を研究部で行っていただけたことになりましたので、それ以外の、見直しをかけた項目も含めてGoogleフォームで一括提出できるようにしました。

④ 各調査の担当者について

フォームによる集計になりますので担当者はおきません。

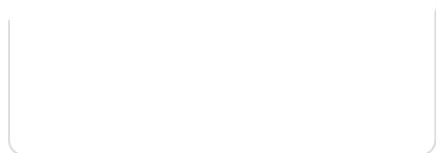
項目④は浜益小細川まで送信してください。

※昨年度のものから削除した項目がそれなりにありますので追加したい項目があれば上げてください。
例えば校務用 PC の外付けテンキー予算算付けなど・・・。

—



*



1

*



2

*



3

*



4

*



5

*



6

*

7

*

8

*

1つだけマークしてください。

9

*

10

*

11

*

12

*

13

*

14

*

15

*

16

*

17

*

18

19

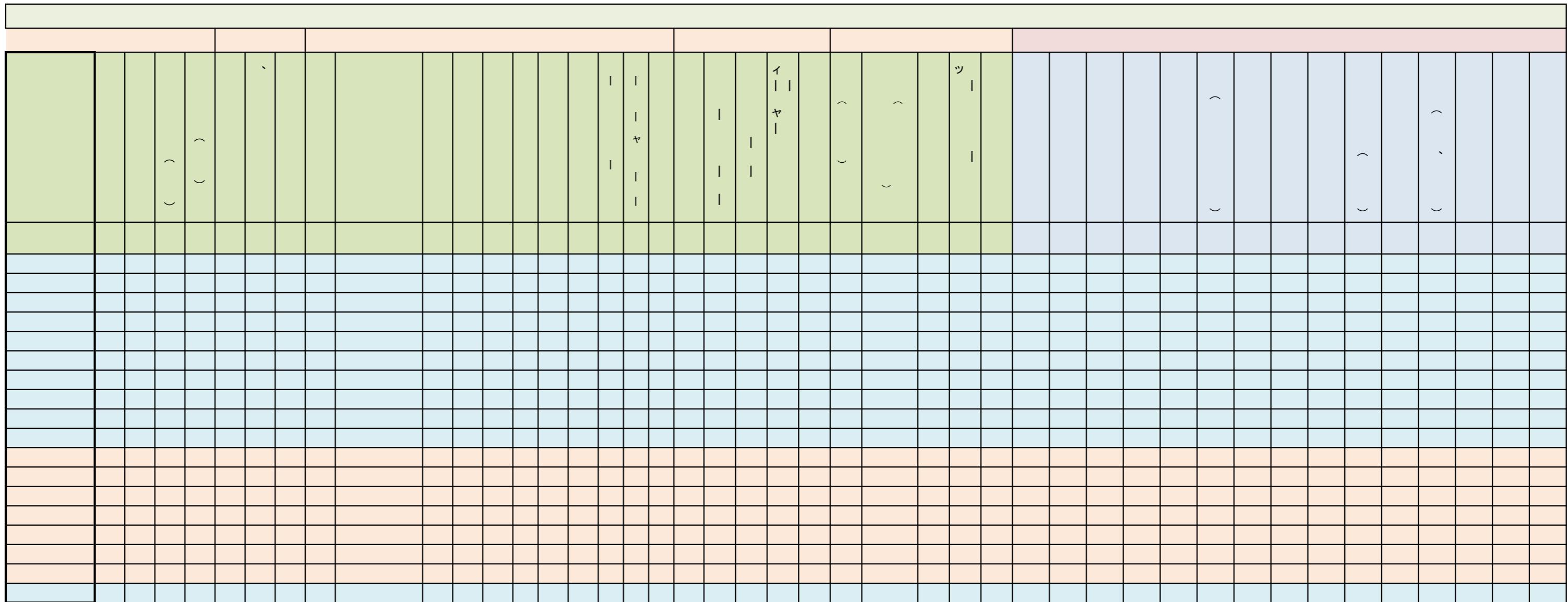
1つだけマークしてください。

20

21



Google



6

※